



東吾妻町

議会だより

第24号

平成24年2月1日

発行：東吾妻町議会



無病息災を願って
「福の神行事」

郷原古谷地区

12月定例会

台風災害復旧を急ぐ 補正予算を可決…2P
「中学校統合問題の具体策は」
など5議員が一般質問……………6P
議会報告会を開催しました……………12P

台風の影響あと大きく 災害復旧を急ぐ



奥田地内の災害現場

23年9月に発生した台風12号・15号は町内に大きな被害をもたらしました。田畑等の農業用施設では51箇所、林道、町道など道路関係は107箇所となり被害総額（復旧費用）は、約一億円にのぼります。

平成23年第4回定例会は、12月7日から15日までの9日間の日程で開催されました。今定例会では、町長より平成23年度補正予算をはじめ、税条例等の一部改正など、議案11件が提出され、10件が原案のとおり可決され、1件は否決されました。一般質問は5名が行い、町政をただしました。

平成23年度補正予算

会計名		補正額	予算額
一般会計		1億 216万円	86億6,699万円
国民健康保険 特別会計	事業勘定	1,222万円	1億8,904万円
	施設勘定	12万円	8,283万円
特別養護老人ホームいわびつ荘 運営事業特別会計		2,685万円	2億5,106万円
下水道事業特別会計		430万円	6億7,897万円
簡易水道特別会計		750万円	6,113万円

一般会計 主なもの

民生費

保育所の保育室へ加湿空気清浄機 21 台・・・126万円

衛生費

太陽光発電システム設置費補助金追加・・・100万円

農林水産業費

震災による地殻ずれ点検測量・・・600万円

商工費

住宅新築改修等補助金・・・200万円

林業振興費

鳥獣害捕獲事業負担金（あがしし君工房・搬入頭数割）・・・91万円

災害復旧費

町道災害復旧費（岩井、小泉、五町田地内）・・・2,109万円

林道災害復旧費（北榛名山線、植栗・小泉・泉沢地内で6カ所、坂倉線、本宿地内で2カ所）・・・3,337万円

農業用施設・・・859万円

「十二沢パーキング」暫定供用

平成 24 年 1 月 1 日より暫定供用開始を行います。



条例の改正

◆ 税条例の一部改正

○ 督促手数料を徴収しないことになりました。
○ 軽自動車税の減免適用範囲の拡充がはかられます。

主な改正内容は、身体に障害のある方と生計を一にする方が所有する軽自動車についても減免の対象となります。

○ 個人住民税寄附金税額控除の適用下限額を「五千円」から「二万円」に引き下げます。
(平成 24 年 4 月 1 日施行)

◆ 総合計画審議会条例の一部改正

◆ 土地改良事業（松谷地区）の実施へ
期間 平成 24 年度から 27 年度

◆ 広域町村圏振興整備組合に計画は必要

広域行政圏計画策定要綱の義務化が廃止され、計画に関する事務規定を削る変更協議に対し、地方分権により、計画に沿った組合運営はますます必要になるなどの意見が出され、全会一致で否決となりました。

意見書を提出

東吾妻町議会は以下の意見書を提出しました。

◆ 『年金受給資格の 10 年への短縮を求める意見書』

提出先 内閣総理大臣

◆ 『拡大生産者責任（EPR）とデポジット制度の法制化を求める意見書』

提出先 衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・環境大臣・
経済産業大臣・農林水産大臣
厚生労働大臣・財務大臣・
消費者庁担当大臣

◆ 『大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書』

提出先 内閣総理大臣・財務大臣・
文部科学大臣・総務大臣・
群馬県知事

Q & A

義務づけがなくなったというところで、広域圏組合自体で計画を立てるなどということではない。理事会も 1 月以降、新しくなるので、協議、審議していきたいと思っている。

議員 再度計画をつくり提案する気があるのか。

町長 今回の上程は理解をいただき、今後は、吾妻広域組合として協議していきたい。

議員 計画策定の関係で 3 つ削除ということだが、現状のまま残した場合、どのような都合等が考えられるか。

町長 これが否決になると、郡内他町村が可決しても成り立たないというところで、その後の県への手続等々に支障を来すと考えている。

議員 現状の広域行政の中で、何か支障があるのか。

町長 現在、そういうものがなくて進めているということであれば、新たな規約等も早急に考えて作成して業務を続けていくというところが妥当な線だと思っ

議員 広域圏計画策定の廃止理由が理解できない。広域として各施設を運営する基本的な計画がなくて運営はできない。計画は絶対必要だ。町長は必要でないと言うが、理事として、自分でもそう思うのか。

町長 今後は広域全体の計画を、議会の提言もあるということをして、理事会に積み上げて審議していきたい。

今回の件は、計画の

みなさんからの 請願・陳情

今定例会では、3件の請願と、2件の陳情を所管の委員会で審査しました。

審査の結果が本会議で報告され、次のように決まりました。

採択となりました

文教厚生常任委員会で審査しました

◎年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長 小崎 洋一郎 外1名

紹介議員 金澤 敏

◎拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について(お願い)

福岡県筑後市長 中村 征一 外3名

◎大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

群馬県医療労働組合連合会

執行委員長 石関 貞夫

趣旨採択となりました

◎0.4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長 小崎 洋一郎

外1名

紹介議員 金澤 敏



第5回臨時会

平成23年11月28日に第5回臨時会を開催し、専決処分をはじめ、5議案が提出され原案のとおり可決しました。

■専決処分の承認(一般会計補正予算)

会計名	補正額	予算額
一般会計	2,263万円	85億8,378万円

専決処分での補正予算内訳

災害復旧費
道路復旧費……………1,605万円
林業施設災害復旧費……………658万円

■職員の給与に関する条例等の一部改正

町では群馬県の人事委員会の方針に準じて、給料表の平均△0.3%の改正を行いました。

■一般会計補正予算

会計名	補正額	予算額
一般会計	△1,895万円	85億6,482万円

減額の主な理由

デイサービスセンターを社会福祉協議会で建設することとなり、減額となりました。

■物品購入契約の締結(太田・岩島・坂上中学校情報教育機器整備事業)

契約金額 1,668万4,500円
契約の相手方 沼田市桜町4827-1
株式会社戸部商会
代表取締役社長 戸部秀樹

■吾妻広域町村圏振興整備組合立中之条病院を算定基礎にした地方交付税の配分及び中之条病院運営に係る負担金の徴収について適正かつ明確な基準に基づいた措置を講じることを求める決議について

- ・地方交付税配分は、人口割とし、病床数を割振る。
- ・負担金徴収は病床数に応じて求める。

議 案 の 審 議 結 果

議案名等	議員名簿	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日	
							菅谷光重	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	水出英治	轟徳三	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一	浦野政衛	一場明夫	橋爪英夫		
第 5 回 臨時会 平成23年11月28日																						
専決処分の承認		14	-	11	2	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	11/28
職員の給与に関する条例等の一部改正		14	-	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	11/28
平成23年度一般会計補正予算		14	-	12	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
物品購入契約の締結について		14	-	12	1	可	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/28
吾妻広域町村圏振興整備組合立中之条病院を算定基礎にした地方交付税の配分及び中之条病院運営に係る負担金の徴収について適正かつ明確な基準に基づいた措置を講じることを求める決議について		14	-	11	2	可	-	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	11/28
第 4 回 定例会 平成23年12月7日～15日																						
総合計画審議会条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
税条例等の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
税外収入金の督促及び滞納処分等に関する条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
観光駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
一般会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
国民健康保険特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
下水道事業特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
簡易水道特別会計補正予算		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
町営土地改良事業(松谷)計画		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
吾妻広域町村圏振興整備組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更に関する協議		14	-	0	13	否	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	12/15	
請願 0.4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願 (趣旨採択)		14	-	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	12/15
請願 年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願 (採択)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
陳情 拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択 (採択)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
陳情 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書(採択)		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
年金受給資格期間の10年への短縮を求める意見書		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
医療・福祉従事者の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書		14	-	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席
 議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。(議長 1番 菅谷光重)
 ※…地方自治法第117条により、本人除斥。

あの請願・陳情はどうなった？

今定例会に町執行部より処理経過の報告がありました。採択請願・陳情処理経過

内 容	処 理 状 況	
太田幼稚園駐車場の舗装に関する陳情	平成18年12月採択	未 決
町道3005号線(本宿上の原)舗装工事のお願い	平成21年 6月採択	処 理 中
旧坂上診療所を改修して新たな通所介護施設(デイサービス)として活用すること	平成21年 9月採択	未 決
坂上地区のバス運行に関する陳情	平成21年12月採択	処 理 中
町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処 理 中
町道1281号(程岩)線改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処 理 中
請願 公衆用道路の拡幅改良について	平成23年 6月採択	未 決
道路改良に関する請願	平成23年 6月採択	未 決
陳情 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成23年 6月採択	未 決
町有地の無償貸与に関する請願	平成23年 9月採択	平成23年10月 完結

一般質問

町政を問う



本庁舎前

期日前投票の改善を

答 慎重に検討する



青柳はるみ議員

問

期日前投票をする際、宣誓書兼請求書に住所、氏名、理由等をその場で書かなければならない。高齢者にとって、とても緊張してしまい、わけがわからなくなってしまうなどの声を耳にする。負担軽減や、利便性向上のために投票所入場整理券の裏側に

期日前投票をする際、宣誓書兼請求書に住所、氏名、理由等をその場で書かなければならない。高齢者にとって、とても緊張してしまい、わけがわからなくなってしまうなどの声を耳にする。負担軽減や、利便性向上のために投票所入場整理券の裏側に

宣誓書の記入欄を印刷して、自宅で記入することができるようにしている自治体がある。また、町のホームページから出力した用紙に事前に記入し、入場券と共に持参するという

ことでの実施された結果、好評だったようだ。少しの不自由さで投票をあきらめてる人への配慮が必要だ。当町も導入できないか。

答

期日前投票所でご記入いただくことで本人確認と、署名できるかを見て、代理投票が必要か判断している。公職選挙法でも宣誓書の記入場所については規定がない。先進例を参考にしながら、利便性の向上と

不正防止の両方の観点から研究を重ね、慎重に検討していく。



放射性物質の対応は

答 除染計画に基づき実施



金澤 敏議員

問

先日除染計画の全体像が示された。子供が集う環境では、0・23マイクロシーベルト毎時を、地表面数値として考えていることなどで安心した。

先日除染計画の全体像が示された。子供が集う環境では、0・23マイクロシーベルト毎時を、地表面数値として考えていることなどで安心した。

答

独自の取り組みとして、基準値

を超える場所は除染を行ってきた。空間放射線量が基準値を超えた地域は、「特措法」に基づき除染計画を作成し実施する。

5 学校区に一台ずつ、保健福祉課にも測定器購入が予算計上された。教育現場のマイクロロボットスポットの調査、面的な除染も行い、除染した表土等の置き場も確保するよう要望する。

今後も「子供が健康で安心・安全な生活」ができるよう、計画的に除染に取り組んでいく。



測定値をホームページに掲載しています。

地域医療問題の進展はあったのか

答 財政支援を県へ要望



根津光儀議員

問

地域拠点病院とされる原町日赤病院が医療従事者確保で苦慮している。人材確保のために補助金を出す考えは無いか。

地域拠点病院とされる原町日赤

答

医師確保、看護師不足とも大変厳しい状況と認識している。町民の健康のために必要な病院であり県に対して財政支援を要望している。補助についてはこれまで通り、機器購入に対して上限二、五〇〇万円を継続して行く。

問

給食の食材は、40ベクレル以下の放射能検査ができる機器の導入を当町も検討していただきたい。

答

給食の検査は群馬県給食会で食材等の検査を行い、食品放射能測定器は、群馬県教育委員会が国の

問

補助を受け導入し、町村教育委員会の検査支援を検討しているの
で、その上で必要があれば、購入も考えている。文科省目安の40ベクレルは、測定機器の機種選定のものと伺っている。

「住宅新築改修等補助金制度」の発展を

問

「一般家庭の除染は」広報ひがしがあがつま12月号では「放射線の状況」と題して特集を掲載したが、極所の高線量箇所個人の除染について書かれていないがなぜか。除染に必要な原材料費を12月補

答

正で予算づけした段階だ。人件費機械借上り料等については、補助制度等を模索している状況である。

一般家庭において早期に除染を希望する方

問

当町は新築も含めての制度となっていて、23年度は40件、申請額は五八〇万円、補助対象工事費は約四億円となっている。この制度をさらに良くするため、補助率10%への引き上げや、上限金額10万円の上乗せを検討すべきと考えるが。

答

町民が町内に本社・本店を有する建築業者に、業務発注する場合に補助金を交付することで、確実な経済効果が現れると思われる。

制度拡充は、補助金総額を勘案するなかで、検討していきたい。

答

県や国から情報を収集し、こちらからの発信も積極的に行う。補償問題が発生したときは町民の立場に立つて行動して行く。



役場で測定している放射線測定器

町政を問う

中学校統合問題の具体策は

答 統合委員会を設置



須崎幸一議員

問 町長は平成26年4月開校をめざすと言うが、中学校統合を推進するための委員会を立ち上げる考えはあるか。

答 今年度内に仮称「中学校統合委員会」を設置し、学校名など統合までに、計画・準備しなければならぬ事項について協議し

問 町民に周知を図るために、町のホームページを活用する考えはあるか。

答 ホームページの活用は情報発信の有効な手段と考えますので、早急に体制の整備を整え、活用したい。

問 議会の議決を必要とする条例改正の議案を上程する時期はいつ頃か。

答 仮称「中学校統合委員会」の協

議がおおむね整った段階で、平成24年6月議会を目的に条例改正を考えている。

問 統合により未使用になる学校施設の利用検討をすべきであると考えているのか。どのように考えているのか。

答 未使用となる学校施設等は、普通財産となることから、町民の方の意見をうかがいながら、有効活用を考えていきたい。

問 今後、住民に対しての理解と協

力を得るために中学校統合の計画書を作成するとともに、全体的なスケジュールを示す必要性があると思うが、いつ頃の予定か。

答 平成24年6月議会までに推進体制の整備を図り、統合問題審議会及び町民の方よりいただいた意見を要望をふまえ、仮称「中学校統合委員会」

において計画書を作成し、中学校統合を進めていきたい。

子育て支援のプランは

答 町全体で支える体制づくり



一場明夫議員

問 幼保一元化、学童保育事業が全

く進んでいないが、保育所の統廃合を優先的に進めるのか。

答 統合も視野に入れ検討していく。

問 原町保育所一元化整備のプランをいつまでにまとめるのか。

答 いっぺんにはできない。優先順位を決めて進めていく。

答 財政状況を考慮し、着実に実施

問 「給食費の無料化」給食費の無料化は、町長の公約である。新年度からやるのか。

答 財政状況を考慮し、着実に実施



委員会報告

委員会構成の変更がありました

平成 23 年 11 月 7 日から
平成 25 年 5 月 12 日まで

議会運営委員会

委員長	橋爪 英夫
副委員長	山田 信行
委員	浦野 政衛 青柳はるみ 茂木 恒二 水出 英治



子育て支援をしっかりと考えていく

問 子育て支援と産業振興をセットで、どんなプランをもっているのか。

答 「次世代育成支援行動計画」は、①子育てを町全体で支える体制をつくる②安心して子供を産み育てられる町をつくる③子供を慈しむ町をつくる。

を基本目標に掲げている。

問 「道の駅整備」道駅の整備に

関しては企業・町民の協力が必要である。早い機会に計画を策定してほしい。

答 意見を尊重し、早急に考えていきたい。

「バイオマスタウン構想」

問 バイオマスタウン構想は構想だけであまり進んでいない。業者との「森林整備に関する協定書」の中に、町内林地残材の活用計画を策定し、五千トンの受入を約束しているが。

答 燃料となるチップは震災により建築廃材が多く入って

くる傾向が強くなると考えられるが、間伐材を使ってもらうよう行動をおこす。

問 今後は直接供給するよう考えたい。

答 バイオマスタウン構想実現への民間の参入は、歓迎すべきものと思っ

「予算決算特別委員会」設置に向け視察研修

10月28日 榛東村議会予算決算特別委員会へ視察研修に伺いました。

榛東村予算決算特別委員会は平成22年の予算委員会から始まり、3回目となります。

今回は、9月定例会最終日に決定し、実際には1月から予算委員会の審議を始めるというのが榛東村議会の特色であるなど、話を聞

くことができました。

玉村町・榛東村の2議会の話を聞き、付託されない予算の内容がわからないというところが、委員会設置の統一した意見でした。

当町議会運営委員会の意見は、もう少し先進地視察・勉強を重ねていきたいという意見となりました。



榛東村予算決算特別委員会について説明を受けました

総務建設常任委員会

【畜産団地汚水問題】

10月12日 植栗地区住民の方から出された、十二ヶ原第二畜産団地から汚水が河川に流れ出て、臭い、また農業用水問題にも支障があるというので、産業課長、建設課長に出席を求め委員会を開会しました。

畜産団地の業者を県が町に斡旋したことなどについて、11月25日に太田公民館で説明会が行われました。

【台風被害調査】

現地へ出向き、委員全員で調査を行い、現況説明をうけた中で、今後の対策の取り組み、完成しているところの被害が大きく、復旧

林道吾嬬山線が台風12号の集中豪雨で被害をうけ、土砂が崩れ落ちたりというようなことで、現地調査をしました。

方法は災害認定となり、負担割合は県が50%、町が50%となります。

【広域圏交付税】

11月17日 広域市町村圏中之条病院の交付税分担金の問題についての決議文を委員会として決め、閉会しました。

11月28日の臨時会でその趣旨を説明し、賛成多数で可決しました。

文教厚生常任委員会

【学校統合・通学問題について】

9月29日 長年にわたる課題の、東中テニスコート用地の件につき、教育長、教育課長より経過説明がありました。

通学問題については5地域に教育長、教育課長が出向き、懇談会をすることを示しました。

た。日程は議会報告会後直ちにとの事です。委員から、通学経路の基本案は示さないのかとの質問がありました。委員から、通学経路の意見聞きたいとのことでした。

【保育所・預かり保育・児童保育園を現地視察】

11月25日 教育長、教育課長同行のもと、預かり保育の岩島幼稚園を視察した後保健福祉課長の同行で岩島、大戸、原町保育所、児童保育ジャンケンポン、あずま保育園を視察し、審議しました。

少人数になっっている保育所がある反面、0歳児保育と学童保育の希望が増えている実態があり、保育所の適正配置が必要ということと、建物の老朽化が進んでいる施設をどうするかという課題があります。委員会としてこれからも調査していくこととしました。

行財政改革推進特別委員会

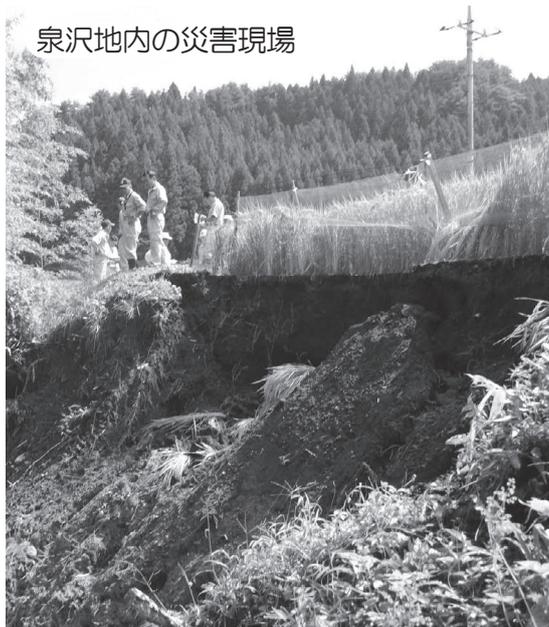
企画課長より、執行部の行政改革推進本部の会議は、5月26日以降組織部会6回、施設部会4回、総合的な推進本部3回が開かれたとの経過報告がされました。

【組織機構見直し】 東支所の見直しは、主に事務的なことで、合併時の取り決めがあることから、機能の縮小には繋がらないとのことでした。

【施設について】

特に特徴的な、庁舎建設について報告がされました。新庁舎の位置、規模、建設費用と財源、事業スケジュール等の素案が示され、24年度には検討委員会を立ち上げ、基本構想と基本計画を作成していく方向が示されました。

子ども園や給食調理場との優先順位に関する判断が出てくる可能性があります。基本設計後に住民説明やパブリックコメントを求める方向性とプ



泉沢地内の災害現場

レゼンテーションに対しては、しっかりプランニングを作るとのことです。

【職員給与】

24年1月1日からの給与体系の変更が職員組合と合意でき、県平均と同程度になる見通しがついたとの報告が

ありました。

第2次集中改革プランが9ヶ月過ぎたことで、本格的な論議が必要ではないかとの認識に基づいて閉会中も委員会を開催する予定です。

ハツ場ダム対策特別委員会

9月13日、第一回検討の場において「ダム案」が治水、利水で有利との報告がされ、11月29日、国土交通省関東地方整備局の事業評価監視委員会は、「建設継続が妥当」とする

12月13日
ハツ場ダム対策
特別委員会

【国関係】

田井地区の年度内完成。第2吾妻橋梁付近、2ヶ所の路盤工事の説明。

【県関係】

7日、国土交通省有識者会議は、検証の全工程を終了し、前田国交相は年内に最終判断をして、政府予算案に反映させる考えを示しました。

ハツ場バイパスの松谷交差点から、雁ヶ沢交差点までが、12月20日開通。夏の豪雨により、被災した溪谷遊歩道の本復旧。

【町関係】

十二沢パーキング敷地造成は、年明けに暫定供用開始予定。ふれあい公園は、2工区を12月に発注。予算オーバーの松谷・六合村線については、地元と協議をし、方向性が確認できれば、下流都県と協議するとの説明がありました。

委員からは、ハツ場ダム事業全体及びダム対策について、発電施設、開通するバイパスの安全対策、JR付け



ふれあい公園の整備が進む

替えの見通しなどの質疑を行い、それぞれの回答を頂き委員会を終了しました。今後ダム対策特別委員会も、ダム建設に対し、安全対策を中心に、調査研究をしていきたいと思います。

その後の動き

12月22日、前田国交相は、長野原町の山村開発センターを訪れ、ダム本体建設を表明しました。

議員研修会

10月18日、中之条町ツインプラザにおいて、平成23年度吾妻郡町村議会議員研修会が町村職員合同で、開催されました。

演題及び講師は、変革時代に求められる地方行政を考える

「安心・安全で心豊かな地域づくりを目指して」と題して、元群馬県教育長 唐澤太市氏より講演を受けました。

ご自分の行政経験と民間企業での経験を踏まえた講演で説得力のあるもので興味深く聴講いたしました。

10月26日、吉岡町文化センターにおいて群馬県町村議会議員研修会が開催されました。「東日本大震災・原子力事故は終わっていない」と題して、軍事アナリストの小川和久氏が危機管理の在り方について、また「町村を取り巻く諸課題について」と題し、全国町村議会議長会事務総長 高田恒氏の講演でありました。地方分権時代に地方議会が求められる課題や議会の活性化など、議会の役割と重要性をあらためて感じました。お2人の講演内容は、今後の議会活動をする上で、大いに参考になった研修会でした。

みなさんの意見を町政に

議会報告会

議会報告会への意見

- ・一方的に続けて報告なので、内容の理解がしづらい。
- ・出席者が少ない。文書回覧だけでなく人集めの工夫をしてほしい。
- ・各委員会の活動報告を分かりやすくまとめた資料が必要。

中学校の統合問題

質 問

- ・新聞報道で、5校を1校にとのことだが十分な審議がなされていない。今年の3月から9月の間の経過がわからない。議論したのか？
- ・太田地区は、2校は反対とのこと。統合は決定したのではなく方向性を出しただけなのか。
- ・通学問題審議会に諮問した内容について。
- ・統合はまだ早いと思う。住民の意見を配慮して決めて欲しい。
又小学校の統合は？中学校の校舎はどこになるのか聞きたい。
- ・中学統合は何年度を目途にどこにつくるのか？
- ・通学費を全額負担していただきたい。
- ・中学校統合により空き校舎ができるがどのように活用するのか。

回 答

平成元年に829人いた全町の中学生が、平成32年には270人程度となり、「適正規模1学年2学級以上が必要」との統合問題審議会の答申を受けて、町長が平成26年4月開校を目標とし、原町中学校を利用したいと町長が9月議会に発表した。

議会に対し3月から9月は何の動きもありませんでした。

議会には学校設置条例の変更が上程され、議決が必要になります。

小学校統合は具体的にはありません。

通学費用は「町で負担していきたい」と教育委員会では言っている。

統合による空き校舎等の活用方法はまだ決まっていない。

平成22年10月に議会基本条例が施行されて、その条例に基づき、町民にわかりやすく、開かれた議会の実現を目指し、議会の活動や仕組みを理解していただくために議会報告会を11月14日から21日まで、町内5会場で開催し69人の町民のみなさんに参加をしていただきました。

昨年5月から改選により新議会となり、初めての報告会であ

りました。議会側より3月、6月、9月の定例会を中心に報告を行いその後、参加者からの質疑や意見がだされました。特に中学校統合問題、放射能対策についての質問や意見・要望が数多くありました。出された貴重な意見や要望等については、町執行部につなぐと共に議会においても検討、協議を進めていく予定です。

中学校の統合についての意見

●2年前のアンケートでは1校20%・5校46%の結果だった。1校にまとめるのは住民の気持ちからかけ離れている。この場に町長に来てもらいたかった。納得できない。

●学校統合の通学問題でスクールバスの利用があるが、地域によっては自転車通学が体力増強という面からも可能ではないか。そのために道路の整備等が必要になってくるが、そのことも視野に入れてもらいたい。

●現在歩道を中学生が自転車通学しているのが小学生とぶつかりそうになる。街灯が暗すぎるので何とかしてほしい。



放射能問題 質 問

- ・ 原発事故に関し、町の除染計画は。
- ・ 防火水槽の汚泥の処理はどうすれば良いか。
- ・ 放射能の数値が高い時の対応について聞きたい。
- ・ 処理の仕方を説明してもらいたい。計測を安易にすると混乱するのでは？
- ・ 下水処理場の汚泥の数値が場所によって桁違いにちがうがなぜか。

回 答

町民課が対策本部を立ち上げ、除染計画を立て24年1月から実施する。

防火水槽は総務課と協議をして進めてもらいたい。

町民課に数値の報告用紙があるので報告をしていただきたい。汚染土等の仮置場の設置は進んでいない。台帳を作るので各自保管をしておいて頂きたいそうです。土嚢袋に入れて、ブルーシート等をかけて保管してほしい。町民課では袋等は用意し、埋設した場所が解かるように、標柱の杭を貸付するそうです。

議員有志で線量計により測定を行った。町では年内中に講演会を開催する予定です。除染については、一定のルールに従って行わなければ、新たな危険をまねくので、ぜひ町民課に相談して下さい。

町内の公共下水、農業集落排水の処理場から汚泥の中にセシウムが検出された。汚泥を堆肥化し無償で配布していたが現在中止しています。この堆肥化したものを処理場内に雨水があたらないようにして一時保管しています。最終的処分は国の指示によるので、それまでは町村で保管するように通達がきている。

山田川にある公共下水の終末処理場は基準値以上のセシウムは検出されていません。

農業集落排水の中にセシウムが検出された検証結果は今、調査をしている段階です。

上水道と簡易水道関係は上下水道課で水質検査をしましたがセシウムは検出されていません。

学校給食費の無料化

質 問

・ 町長の選挙公約の給食の無料化は否決されているが今後の動きは？
新年度予算で無料化を取り下げたが理由は何か。

回 答

取り下げ理由は震災を受け、交付金の減額が予想されたので撤回をした。しかし町長は望みを捨てていない。予算的に整えば実施したいとの事。他に給食費の未納が350万円程あるので回収に努めるとのこと。

医療の問題 質 問

・ 東吾妻町、中之条町に産婦人科がないので医療の充実を図ってほしい。

回 答

町でも要請しているが、医師不足や経営の問題で実現していない。今後も努力していく。文教厚生常任委員会では、今後も日赤、町への働きかけをしていきます。

特別養護老人ホームいわびつ荘の運営

質 問

増床についての計画はあるのかどうか伺いたい。

回 答

今のところ増床の計画はない。国の設置基準が変わり、個室対応になったため、町独自での増床は今のところ困難だと思う。

若者定住化対策 要望・意見

- 若者が定住できるような、安い住宅地の創設を考えてほしい。
- 町で購入する物品は極力町内業者からしてほしい。

消防団について

質問

・東地区消防組織を縮小したいので検討してくれとのことだが、現状の形でお願いしたい。その後の経過は？

回答

分団の統廃合については総務課から回答も相談もない。担当課につなぐ。

防火水槽の管理運営

質問

・今年の3月定例会で、ある議員から質問が出た防火水槽の設置負担及び運営であるが、町長答弁では今後町で管理運営をしたいという方向が出てきたのですが、いつ頃になるか？

回答

防火用水については町村合併以前から行政区で設置して維持管理をしていると思う。考え方は新設の場合は町で管理する。今、実際に集落で関係するものは、いつでも利用できる状態になっている。今後、どうするか検討をする期間をいただきたいと町執行部から回答をいただいている。その方向性ができれば、議会に条例改正が出てくるものと思っている。

修理については、費用の3分の2が補助金として出るので総務課に区の方で相談をしてください。

箱島地区農村公園用地

質問

- ・長い間放置されているが？
- ・工場用地を住宅用地に変更できないか？

回答

前町長が工場用地に用途を変更した。他地区では住宅用地が売れ残っているので困っている。執行部につなぐ。

産業振興（観光含む）及び町の活性化対策

質問

- ・企業誘致の具体策は。
- ・町のアピールをどう考えるか。

回答

工場予定地は用意してあるが今の場所では、住民の理解が得られにくい。

DCキャンペーン後も引き続き町のアピールをしていく。

役場庁舎建設 質問

・町民の意見の反映できる機能を持った庁舎にしてほしいが現状はどう進んでいるのか。

回答

庁舎建設は、行財政改革推進特別委員会で執行部より説明があり3月11日の大震災を受けて、急遽動き出した状況です。庁舎の規模、資金、建設時期について調査に入ったとの事です。具体的なものが出てくれば議会として、町民の意見が反映できる庁舎にするべく充分議論します。

意見

- ・震災ムードでの庁舎新築は視点がずれている。





鳥獣害対策 質 問

・イノシシを駆除した場合、放射能問題で検査をするのに2万円かかるそうですがそんなにお金がかかるのでは獲る人がいなくなるのではないかと。

・狩猟免許、罾はどこで取得できるのか。

回 答

猟友会も合併して会員は60名程で対応しています。猟期前からの物は買い取りますが、現在JAでやっている加工品がなかなか売れない状態で、在庫がだいぶあり、残ったものは廃棄処分している状態です。この地域では、放射能セシウムは基準値以下であると鑑定結果が出ています。

免許は、産業課で申請してもらうことと、罾については年1回ですので、猟友会に相談してもらう。又林業事務所で免許を取ってもらうこともできるが、特例ですので自分の畑や田んぼのエリアに限る。坂上地区の駆除隊でしたら坂上地区全域にかけられるようになっています。

町からのお知らせ 質 問

・緊急時における防災無線の告知が屋内外で聞きづらいことがある。携帯電話にメールで届くようにしてもらいたい。(緊急時以外のお知らせも含めて)

回 答

議会でも一般質問をしているのでその方向に持って行きたい。

公団営畜産団地 質 問

十二ヶ原第二畜産団地で汚水の流出があったが、他の地区の団地でも問題があるのか状況を知りたい。

回 答

当時の県の汚水規制基準は、沈砂池を設置し、うわ水を流す方法であったため大量の汚水が流出したと考えられる。現在の規制基準は厳しくなっている。

今度、新たに入る企業はその対策を現在していると思う。委員会として十分に今後対応していきたい。

旧岩島第一小学校跡地の利用要望

●旧岩島第一小学校跡地の草刈りと校舎や体育館を整備していただきたい。またほかに使われていない施設についても視察をして活用を協議していただきたい。

鉄道事業要望

●町にはJR駅が4つあります。ホームと電車の乗降口に段差があり、お年寄りや中学一年生あたりは危険性が高い。原町駅はかさ上げ工事が済んでいるので早急に他の駅のかさ上げ工事をJRに要望してほしい。

議会報告会では、たくさんのご意見・ご要望をいただきありがとうございました。紙面の都合で、すべて掲載することができませんが、いただいた貴重な質問・意見・要望を今後の議会運営に役立てていきたいと思っております。



まちの声

『地域の絆』

田中 大輔さん
(三島：30歳)



2011年の夏、15年ぶりに『マスつかみ』を行いました。

マスつかみは、私が幼かった頃、育成

会が主体となり毎年お盆に行われていた地区の行事でしたが、子供の数も減り、お盆はいろいろと忙しいなどの理由で無くなってしまいました。昔に比べ地区の子供たちが参加できる行事が減り、子供のいる親から「昔行われていた行事を自分の子供にもやらせてあげたい」という声がありました。

その親と地区の若い人達で話し合い「行事の中で一番楽しかったマスつかみを今の子供たちにやらせても、きっと楽しんで参加するだろう」と声が上がりました。

単純に「楽しかったから」という思いが私たちの気持ちの後押しし、15年ぶりになつかしの『マスつかみ』を行うことができました。私たちの親世代からの助言や助けをかり、その日は子供たちの笑顔と笑い声を聞くことができました。

去年のマスつかみが、この先も途切れることなく、恒例行事として続けられたら本当に嬉しいです。さらにマスつかみ以外でも、地区の子供たちが楽しく参加し思い出に残るような行事が増やせたら最高です。

編集のテクニクを学ぶ

広報研修会

去る9月26日、前橋問屋町センター会館において、群馬県町村議会広報研修会が開催され、広報対策特別委員が参加しました。講師は、全国町村議会

会議長会広報研修の講師を務める城市創氏によるものです。内容は、午前中「広報一般論」として、「議会だより」の編集

た。特に写真の撮影における注意すべき事項や肖像権の問題、そして原稿の取り扱いにおける著作権等の説明は参考になりました。

午後からは、「広報クリニク」として実際に発行している3町村の議会広報誌を取り上げて、診断を受けました。特にグラデーシオン



編集後記

町民の皆様にはご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、3月11日の東日本大震災、福島第一原発の事故、原発事故による放射能汚染いずれも深刻な問題となっております。

当町においても放射能汚染と台風12、15号の被害が大きなものになりました。そんな中、12月定例会では、放射能対策、台風災害を受け、主に補正予算案や条例の改正等の審議がおこなわれました。

「議会だより」で、その内容をわかりやすく、お伝えすることに努め、編集しました。新しい年が災害のない町民みなさんにとって良い年になりますようお祈りします。

広報対策特別委員会
委員 樹下啓示